

「ルーブリックによる資格教育課程の到達目標達成度評価表」
【ウェブデザイン実務士】教育課程 到達目標達成度評価表

領域 1

資格 到達 目標	開発能力	具体的な学修目標	レベル 5（90 点以上）	レベル 4（80～89 点）	レベル 3（70～79 点）	レベル 2（60～69 点）	学生自己 評価
ウェブ サイト 制作に 必要な 「三」を 修得し、 ウェブ ページ のスタイル を決める 「三」を 用いて 基礎的な ウェブ サイトの 開発、 運営を 行うこと ができる。	1-1 ウェブ デザインの 理解	①ウェブページの作成方法、 ウェブサイト構築に関する インターネットの利用技術 などについて理解してい る。	・ウェブページの実践的な作成方法、ウ ェブサイト構築に関するインターネ ットの実践的な利用技術、 <u>それらの 限界と課題を実例をもとに具体的に 説明できる。</u>	・ウェブページの実践的な作成方法、ウ ェブサイト構築に関するインターネ ットの <u>実践的な利用技術</u> を説明でき る。	・ウェブページの基本的な作成方法、ウ ェブサイト構築に関する <u>インターネ ットの基本的な利用技術</u> を説明でき る。	・教科書などを使って、ウェブペー ジの基本的な作成方法、ウェブサイ ト構築に関するインターネットの 基本的な利用技術を説明できる。	5・4・3・2・1
		②ウェブデザイン実務を理解 し、マークアップ言語 「HTML」やウェブページのス タイルを決める「CSS」を用 いて、レイアウトを設定す ることができる。	・ウェブデザイン実務で踏まえるべき ポイントに配慮して、マークアップ 言語「HTML」「CSS」を用いて、実践的 なレイアウトを設定し、 <u>ウェブデザ インの観点から成果と課題を評価で きる。</u>	・ウェブデザイン実務で踏まえるべき ポイントに配慮して、マークアップ 言語「HTML」「CSS」を用いて、 <u>実践的 なレイアウトを設定できる。</u>	・ウェブデザイン実務で踏まえるべき ポイントに配慮して、マークアップ 言語「HTML」「CSS」を用いて、 <u>初歩的 なレイアウトを設定できる。</u>	・教科書などを使って、ウェブデザ イン実務で踏まえるべきポイントに 配慮して、マークアップ言語 「HTML」「CSS」を用いて、初歩的な レイアウトを設定できる。	5・4・3・2・1
	1-2 基礎的な 情報実務 能力	③パソコンやインターネット の活用方法などを理解し、 ウェブコンテンツ作成ソフ トウェアを使って素材（静 止画像・動画・グラフィッ クス・音声）を作成してウ ェブデザインに活用でき る。	・パソコンやインターネットの <u>効果的 な活用方法</u> を踏まえて、ウェブコン テンツ作成ソフトウェアを使って実 用的な素材を作成してウェブデザ インに活用でき、 <u>ウェブデザインの観 点から成果と課題を評価できる。</u>	・パソコンやインターネットの活用方 法を踏まえて、ウェブコンテンツ作 成ソフトウェアを使って <u>実用的な素 材</u> を作成してウェブデザインに活用 できる。	・ウェブコンテンツ作成ソフトウェア を使って初歩的な素材を作成してウ ェブデザインに活用できる。	・教員の指導のもとで、ウェブコンテ ンツ作成ソフトウェアを使って初 歩的な素材を作成してウェブデザ インに活用できる。	5・4・3・2・1
		④ビジネスの現場における、情 報の検索、加工、分析、資料 作成、情報発信などの一連の 情報実務を実践でき、ウェブ デザインに活用できる。	・ビジネスの実践的な課題に対して、パ ソコンを使って、情報の検索、加工、 分析、資料作成、情報発信などの情報 実務を実践でき、ウェブデザインに 活用し、 <u>ウェブデザインの観点から 成果と課題を評価できる。</u>	・ビジネスの実践的な課題に対して、パ ソコンを使って、情報の検索、加工、 分析、資料作成、情報発信などの <u>情報 実務</u> を実践でき、ウェブデザインに 活用できる。	・パソコンを使って、情報の検索、加工、 分析、資料作成、情報発信などの <u>基礎 的な情報実務</u> を実践でき、ウェブデ ザインに活用できる。	・教員の指導のもとで、パソコンを使 って、情報の検索、加工、分析、資 料作成、情報発信などの基礎的な情 報実務を実践でき、ウェブデザイン に活用できる。	5・4・3・2・1
	1-3 ウェブ デザイン 実務力	⑤ウェブサイト運営、およびウ ェブサイト構築における注意 事項、著作権問題、セキュリ ティなどの重要なポイントを 具体的な事例をもとに説明で きる。	・ウェブサイト運営と構築における注 意事項、著作権問題、セキュリティな どの重要なポイントを具体的な事例 をもとに説明でき、 <u>ウェブデザイン 実務について考察できる。</u>	・ウェブサイト運営と構築における注 意事項、著作権問題、セキュリティな どの重要なポイントを <u>具体的な事例 をもとに説明できる。</u>	・ウェブサイト運営と構築における注 意事項、著作権問題、セキュリティな どの <u>基本的なポイント</u> を説明でき る。	・教科書などを使って、ウェブサイト 運営と構築における注意事項、著作 権問題、セキュリティなどの基本的 なポイントを説明できる。	5・4・3・2・1

領域 2

資格 到達 目標	開発能力	具体的な学修目標	レベル 5（90 点以上）	レベル 4（80～89 点）	レベル 3（70～79 点）	レベル 2（60～69 点）	学生自己 評価
分野で学んだ能力を活用してウェブコンテンツとサイトを制作し、ウェブデザインのそれぞれのステップにおいて、基礎	2-1 ウェブデザイン実務スキル	⑥画像編集ソフトを使って静止画像などを編集でき、グラフィックデザインソフトを使ってロゴやイラストなどを加工できる。	・画像編集ソフトを使って静止画を編集し、グラフィックデザインソフトを使って実用的なロゴやイラストなどを作成することができ、 <u>ウェブデザインの観点から成果と課題を評価</u> できる。	・画像編集ソフトを使って静止画を編集し、グラフィックデザインソフトを使って実用的なロゴやイラストなどを作成することができる。	・画像編集ソフトを使って静止画を編集し、グラフィックデザインソフトを使って初歩的なロゴやイラストなどを作成することができる。	・教員の指導のもとで、画像編集ソフトを使って静止画を編集し、グラフィックデザインソフトを使って簡単なロゴやイラストなどを作成することができる。	5・4・3・2・1
		⑦ウェブ制作ツールを使って、静止画、動画、音声などを使った様々なウェブコンテンツを制作して、ウェブページを作成できる。	・ウェブ制作ツールを使って、静止画、動画、音声などを使った多様なウェブコンテンツを制作して、実用的なウェブページを作成でき、 <u>ウェブデザインの観点から成果と課題を評価</u> できる。	・ウェブ制作ツールを使って、静止画、動画、音声などを使った多様なウェブコンテンツを制作して、 <u>実用的なウェブページ</u> を作成できる。	・ウェブ制作ツールを使って、静止画、動画、音声などを使ったウェブコンテンツを制作して、 <u>初歩的なウェブページ</u> を作成できる。	・教員の指導のもとで、ウェブ制作ツールを使って、静止画、動画、音声などを使ったウェブコンテンツを制作して、初歩的なウェブページを作成できる。	5・4・3・2・1
	2-2 ウェブデザイン能力の活用	⑧コンテンツマネジメントシステム（CMS）などを活用し、ウェブオーサリングツールを操作して、制作課題に応じたウェブページを編集できる。	・コンテンツマネジメントシステムを活用し、ウェブオーサリングツールを操作して、実用的な制作課題に応じたウェブページを編集でき、 <u>ウェブデザインの観点から成果と課題を評価</u> できる。	・コンテンツマネジメントシステムを活用し、ウェブオーサリングツールを操作して、 <u>実用的な制作課題</u> に応じたウェブページを編集できる。	・コンテンツマネジメントシステムを活用し、ウェブオーサリングツールを操作して、 <u>初歩的な制作課題</u> に応じたウェブページを編集できる。	・教員の指導のもとで、コンテンツマネジメントシステムを活用し、ウェブオーサリングツールを操作して、初歩的な制作課題に応じたウェブページを編集できる。	5・4・3・2・1
		⑨ユーザーからニーズを的確に把握し、ウェブサイトを制作する方法について学んだスキルを発揮して、企画通りのウェブサイトを制作できる。	・ユーザーのニーズを的確に把握し、ウェブサイトの制作スキルを活用し、ユーザーのニーズに対応する企画に基づくウェブサイトを制作でき、 <u>ウェブデザインの観点から成果と課題を評価</u> できる。	・ユーザーのニーズを的確に把握し、ウェブサイトの制作スキルを活用し、 <u>ユーザーのニーズに対応する企画</u> に基づくウェブサイトを制作できる。	・ユーザーのニーズを把握し、ウェブサイトの制作スキルを活用し、初歩的な企画に基づくウェブサイトを制作できる。	・教員の指導のもとで、ユーザーのニーズを把握し、ウェブサイトの制作スキルを活用し、初歩的な企画に基づくウェブサイトを制作できる。	5・4・3・2・1
	2-3 ウェブデザイン実務実践力	⑩ウェブデザインの専門知識、スキルを、ビジネス現場で活用できる実践的な応用能力を身につけている。	・ウェブデザインの専門知識、スキルを、 <u>ビジネス現場に基づく課題を自分で設定</u> して、活用できる能力を身につけている。	・ウェブデザインの専門知識、スキルを、 <u>ビジネス現場に基づく課題</u> に活用できる能力を身につけている。	・ウェブデザインの専門知識、スキルを、 <u>与えられた課題</u> に活用できる能力を身につけている。	・教員の指導のもとで、ウェブデザインの専門知識、スキルを、与えられた課題に活用できる能力を身につけている。	5・4・3・2・1
		⑪ウェブサイトを作成するプロセスを資料にまとめ効果的に情報発信できるとともに、ウェブサイトを作成するプロセスについての実施マニュアルを作成でき、詳しく説明できる。	・ウェブサイトの作成手順について、 <u>具体的な事例をもとにした実践的な資料やマニュアル</u> を作成でき、他者にわかりやすく説明できる。	・ウェブサイトの作成手順について、 <u>実践的な資料やマニュアル</u> を作成でき、他者に <u>わかりやすく説明</u> できる。	・ウェブサイトの作成手順について、 <u>初歩的な資料やマニュアル</u> を作成し、他者に説明できる。	・教員の指導のもとで、ウェブサイトの作成手順について、初歩的な資料やマニュアルを作成し、他者に説明できる。	5・4・3・2・1

領域 3

資格到達目標	開発能力	具体的な学修目標	レベル 5（90 点以上）	レベル 4（80～89 点）	レベル 3（70～79 点）	レベル 2（60～69 点）	学生自己評価
ウェブデザインに関する幅広い課題に取り組み総合的な演習や事例研究を通して、専門的な知識やスキルを総合的に活かす実践力を備え、スペシャリストとして働くための学びを継続する重要性を理解している。	3-1 ウェブデザイン実務の総合的実践力	⑫ウェブデザインについて学んできたことの集大成として、実践の場面で、身につけてきた専門知識とスキルを発揮し、ユーザーのニーズを把握して、具体的なウェブサイトの作品制作を行うことができる。	・ウェブデザインの専門知識・スキルを活用して、実践的な総合演習課題に基づき、ユーザーが利用しやすい魅力的なウェブサイトの作品を作成することができる。	・ウェブデザインの専門知識・スキルを活用して、実践的な総合演習課題に基づき、ユーザーのニーズに応じたウェブサイトの作品を作成することができる。	・ウェブデザインの専門知識・スキルを活用して、実践的な総合演習課題に基づくウェブサイトの作品を作成することができる。	・教員の指導のもとで、ウェブデザインの専門知識・スキルを活用して、実践的な総合演習課題に基づくウェブサイトの作品を作成することができる。	5・4・3・2・1
		⑬ウェブサイトの作品制作、ウェブコンテンツ制作の課題を他者にわかりやすく説明できる。	・自分の作成したウェブサイトやウェブコンテンツの制作物を多様な視点から評価し、その結果を考察して、成果・課題・改善策を明確に説明できる。	・自分の作成したウェブサイトやウェブコンテンツの制作物を多様な視点から評価して、成果と課題を説明できる。	・自分の作成したウェブサイトやウェブコンテンツの制作物を評価して、成果と課題を説明できる。	・教員の指導のもとで、自分の作成したウェブサイトやウェブコンテンツの制作物を評価して、成果と課題を説明できる。	5・4・3・2・1
	3-2 実践活動における学びの継続力	⑭ウェブサイトの評価基準（ユーザビリティ、アクセシビリティなど）について説明でき、効果的なウェブサイトを作成することができ、さらに学びを深める重要性を理解している。	・ウェブサイトの評価基準と作成上の注意事項を具体的な事例をもとに実践的な観点から説明することができ、さらに学びを深めるための自分の課題と学びの方法を説明できる。	・ウェブサイトの評価基準と作成上の注意事項を実践的な観点から説明することができ、さらに学びを深めるための自分の課題を説明できる。	・ウェブサイトの評価基準と作成上の注意事項を説明することができ、さらに学びを深める必要性に気づくことができる。	・教員の指導のもとで、ウェブサイトの評価基準と作成上の注意事項を説明することができ、さらに学びを深める必要性に気づくことができる。	5・4・3・2・1
		⑮ウェブデザインの学修成果を実践活動の場で活用できる能力を身につけ、その結果を振り返って学びを継続できる。	・ウェブデザインの学修成果を総合的に活用することができ、その結果を深く振り返って学びを継続する必要性に気づき、自分の学びの計画を明確にできる。	・ウェブデザインの学修成果を総合的に活用することができ、その結果を深く振り返って学びを継続する必要性に気づくことができる。	・ウェブデザインの学修成果を活用することができ、その結果を振り返って学びを継続する必要性に気づくことができる。	・教員や周りのアドバイスのもとで、ウェブデザインの学修成果を活用することができ、その結果を振り返って学びを継続する必要性に気づくことができる。	5・4・3・2・1

◇評価記入上の注意

※¹ 各レベルに付記する数はあくまで大学教育評価に対応する目安。

※² レベル 1 の記載はないが、レベル 2 に達しないものをレベル 1 とみなして評価する。

※³ 「開発能力」「具体的な学修目標」の達成度自己評価を行う際、そのすべてに対応する授業科目（学修プログラム）があり、また履修しているとは限らないので、具体的な学修目標を整理して該当するものについてのみ自己評価し、該当しないものは、自己評価をせずに空欄のままにする。

※⁴ 領域別総合評価は、その領域の開発能力の学修目標達成度の自己評価の記載結果を確認し、それをもとにその領域の学修目標達成度について総合的に評価する。（総合評価の記載は「到達目標達成度評価表（提出用）」に記す）